



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス
コード番号 9407 URL <https://rkb.jp/holdings/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理局長
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
TEL 092-852-6624

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,581	2.1	256	259.1	343	111.5	173	191.8
2023年3月期第1四半期	5,464	△3.0	71	△78.9	162	△60.6	59	△74.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 907百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	78.98	—
2023年3月期第1四半期	27.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	49,482	37,638	73.9
2023年3月期	49,027	36,906	73.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 36,548百万円 2023年3月期 35,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	75.00	75.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	1.2	750	△36.1	900	△33.5	500	△25.3	228.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	2,240,000 株	2023年3月期	2,240,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	47,933 株	2023年3月期	47,933 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	2,192,067 株	2023年3月期1Q	2,192,158 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行など社会情勢の正常化が進み、賃上げや金融政策の緩和継続等が景気の回復を下支えしました。一方で、世界的な金融引締め等が続く中で、海外景気の下振れ、物価上昇及びウクライナ情勢の長期化等が懸念されており、それらが日本経済に与える影響を注視すべき状況にあります。

そのような状況の中、主力事業である放送事業収入やその他事業収入については、イベントの開催に伴う収入が増加したこと等により増収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高55億81百万円（前年同期比 2.1%増）、営業利益は2億56百万円（前年同期比 259.1%増）、経常利益は3億43百万円（前年同期比 111.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億73百万円（前年同期比 191.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①放送事業

放送事業は、収入36億86百万円（前年同期比 1.7%増）、営業利益1億24百万円（前年同期は営業利益9百万円）となりました。

テレビ部門は、収入34億34百万円（前年同期比 1.9%増）となりました。主力商品であるスポット収入は、アルコール飲料や輸送機器等が前年同期を上回りましたが、食品、薬品、トイレタリ等の出稿が低調で2.1%減となりました。一方、タイム収入は、女子プロゴルフトーナメント「RKB×三井松島レディース」、「博多どんたく港まつり」等のイベントを入場・行動制限なく開催できたことなどにより7.4%増となりました。

ラジオ部門は、収入2億52百万円（前年同期比 1.4%減）となりました。制作収入はイベントの規模拡大や再開で15.9%増となりました。しかしながら、スポット収入はアルコール飲料や医薬品等の出稿が低調で10.2%減、タイム収入も娯楽遊戯施設からの出稿が低調で9.5%減となり、全体としては減収となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入13億33百万円（前年同期比 3.5%減）、営業利益49百万円（前年同期比 227.0%増）となりました。前年同期に大型の機器販売があった反動により減収となりましたが、利益面では利益率の高いSIサービス部門の売上が増加したことなどから増益となりました。

③不動産事業

不動産事業は、収入2億58百万円（前年同期比 0.6%減）、営業利益2億59百万円（前年同期比 1.5%減）とほぼ前年並みとなりました。

④その他事業

その他事業は、収入3億3百万円（前年同期比 53.4%増）、営業利益16百万円（前年同期は営業損失28百万円）となりました。催事部門では「ミュシャ展」や舞台「笑の大学」等を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策にともなう行動規制が解除されたことで、イベントへの来場者が増加したことにより増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、494億82百万円と前連結会計年度末と比べ4億54百万円増加しました。これは主に、回収により受取手形、売掛金及び契約資産が18億99百万円減少したものの、株価の上昇により投資有価証券が10億12百万円、売上債権のファクタリング化により流動資産その他に含まれる未収金が5億10百万円及び回収により現金及び預金が4億72百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の総負債は、118億44百万円と前連結会計年度末と比べ2億77百万円減少しました。これは主に、株価の上昇により繰延税金負債が3億11百万円増加したものの、支払等により流動負債のその他に含まれる未払費用が4億4百万円及び未払金が3億18百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、376億38百万円と前連結会計年度末と比べ7億32百万円増加しました。これは主に、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が7億16百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年5月19日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,258	12,730
受取手形、売掛金及び契約資産	4,533	2,634
棚卸資産	174	641
その他	2,365	2,742
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	19,327	18,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,405	5,333
機械装置及び運搬具（純額）	653	601
土地	13,645	13,645
その他（純額）	2,072	2,212
有形固定資産合計	21,776	21,792
無形固定資産	236	280
投資その他の資産		
投資有価証券	5,301	6,313
その他	2,391	2,355
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	7,686	8,663
固定資産合計	29,699	30,736
資産合計	49,027	49,482
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479	384
未払法人税等	68	111
その他	3,495	3,075
流動負債合計	4,043	3,571
固定負債		
退職給付に係る負債	4,629	4,573
その他	3,447	3,699
固定負債合計	8,077	8,272
負債合計	12,121	11,844

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	34,280	34,289
自己株式	△185	△185
株主資本合計	34,660	34,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,235	1,951
退職給付に係る調整累計額	△79	△71
その他の包括利益累計額合計	1,155	1,879
非支配株主持分	1,089	1,089
純資産合計	36,906	37,638
負債純資産合計	49,027	49,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,464	5,581
売上原価	3,546	3,535
売上総利益	1,918	2,046
販売費及び一般管理費	1,846	1,790
営業利益	71	256
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	73	74
その他	18	12
営業外収益合計	91	87
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	1
営業外費用合計	0	1
経常利益	162	343
税金等調整前四半期純利益	162	343
法人税等	97	159
四半期純利益	64	183
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	59	173

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	64	183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	716
退職給付に係る調整額	7	7
その他の包括利益合計	△68	723
四半期包括利益	△4	907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9	896
非支配株主に係る四半期包括利益	4	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した宗像陸上養殖株式会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
テレビ放送	3,369	—	—	—	3,369	—	3,369
ラジオ放送	255	—	—	—	255	—	255
システム関連	—	1,381	—	—	1,381	—	1,381
その他	—	—	—	198	198	—	198
顧客との契約から生じる収益	3,624	1,381	—	198	5,204	—	5,204
その他の収益	—	—	259	—	259	—	259
外部顧客への売上高	3,624	1,381	259	198	5,464	—	5,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25	24	207	404	661	△661	—
計	3,650	1,405	467	602	6,125	△661	5,464
セグメント利益又は損失(△)	9	15	262	△28	258	△186	71

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△186百万円には、セグメント間取引消去0百万円、当社における子会社からの収入37百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△224百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
テレビ放送	3,434	—	—	—	3,434	—	3,434
ラジオ放送	252	—	—	—	252	—	252
システム関連	—	1,333	—	—	1,333	—	1,333
その他	—	—	—	303	303	—	303
顧客との契約から生じる収益	3,686	1,333	—	303	5,323	—	5,323
その他の収益	—	—	258	—	258	—	258
外部顧客への売上高	3,686	1,333	258	303	5,581	—	5,581
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	15	233	402	672	△672	—
計	3,707	1,348	491	706	6,254	△672	5,581
セグメント利益	124	49	259	16	450	△193	256

(注) 1. セグメント利益の調整額△193百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、当社における子会社からの収入28百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△221百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		増減	
	金額(百万円)	比率(%)	金額(百万円)	比率(%)	金額(百万円)	比率(%)
テレビ収入	3,387	90.0	3,453	88.0	66	1.9
ラジオ収入	262	7.0	253	6.4	△9	△3.5
その他の収入	115	3.0	218	5.6	103	88.9
合計	3,766	100.0	3,926	100.0	159	4.2